

ちょっとひと言!!

市民の言

広報委員が市民の皆さんに、行方市に寄せる思いをインタビューしました。



●暑い夏も過ぎ、快い秋風が吹き野山も紅葉の季節となりました。私はゴミの出し方に一言。地区ごとに決められた指定場所があると思うのですが、指定された以外の場所に出す人がいるようです。捨て易い場所があるので、つい出してしまおう。そういう考えだと思いますが、できれば指定の場所に出してもらいたいです。

特に、夜中に生ゴミを捨てる時、犬や猫、カラスなどが食い荒らしてすぐ困っています。皆でマナーを守り、気を付けましょう。
(60代・女性)

●子育て支援の充実に力を入れてほしいです。
子ども出産時に市独自の「お

めでどう一時金」を支給。働くお母さん達のために、保育施設の整備と拡充。
・市内小中学校のスクールバスの完全無料化。
『子を育てるなら行方市』と他市町村民から羨ましがられる「行方市」になってほしい!
(40代・男性)

●私は、企業の誘致を希望します。子育てが一段落し、改めて就職先を探したところ、行方市には求人が少なく、現在は片道30キロを一時間弱かけて通っています。

若い頃には、何とも感じなかった距離でも、家事や少なくなってきたとはいえ子どもたちの事もあって私にとっては、大きな負担となっています。

そして、老後の不安を感じているところもあり、長く働き続けたいと考えると、少しでも近くに働ける場所が欲しいです。
(30代・女性)

●私には、1歳になる娘と12月に生まれる予定の赤ちゃんがいます。

今年から始まった乳児育児用品等購入費の助成など、子育てに関する支援が少しずつ広がっていることを実感して、とてもうれしく思っています。

これから、子どもが大きくなるにつれて益々このような支援

が必要になると思うので、子育てのしやすい市を目指して様々な制度が出来ることを期待しています。
(20代・女性)

●秋晴れの中、孫が通っている小学校の運動会に参加させていただきました。

随分児童数が減っていましたし、色々様変わりしたところもありましたが、目を閉じてみれば、子どもたちの元気な応援の声や観客席から湧き出る歓声は、昔と変わってはいませんでした。

多分、6年生であろうお兄さんお姉さんが低学年の子どもたちに、かいがいしく声をかけた手をとって導いている姿は、微笑ましく、そして清々しいものでした。

上から下へと人の繋がりがこうして残っていくのだらうと、子どもたちの姿を見て、改めて思いました。

楽しい運動会をありがとう。
(60代・男性)



麻生幼稚園運動会

編集後記

秋も一段と深まり、日ごとに寒気が身に染みる季節となりました。

さて、今号では、平成25年度の決算審査を中心に掲載しています。決算審査は、議会が議決した予算が適正に執行されたかどうか、また、費用対効果はどうであったかを審査するだけでなく、これらの結果を次年度以降の行財政運営にどう反映させていくかを検証するという点で大きな意義があります。

今回は景気の回復等による所得増等に伴い、わずかではありますが税収が増額になりましたが、依然として減少の一途を辿る当市の人口を考えると、今後の税収減は否めません。

現在、市内には多くの空き家が点在しています。総務省の調査で空き家率が過去最高の13.5%であることが明らかになりました。

今後、一層の少子高齢化と人口減少が進むことを考えると、空き家への移住者の呼び込みや適正管理などの対策が必要であると考えます。

来る12月は今年最後の定例会です。年末の御多用の時期ではありますが、議会の活動や市政の動きを知るチャンスです。多くの皆様の傍聴をお待ちしております。
(大原功坪)

広報委員会

- 委員長 栗原 繁
- 副委員長 鈴木 裕
- 委員 大原功坪 小林 久
- 高橋正信 平野 和